

要望聞いて すぐ行動

4年間普通の市民の感覚貫く 子どもの未来とくらし守る



う え だ か ず こ
植田和子 市議員

2月26日 植田和子議員は4年間の締めくくりの一般質問に立ち、3点について質問しました。

1、子ども・青年が夢と希望を持てる政治に関して

①「平和都市宣言」にふさわしい流山にするこ
とについて

②自衛隊への「青年名簿」提供について

③奨学金制度の改善・拡充について

④江戸川台小のトイレ改修・校舎建て替えについて

2、北部地域のまちづくりに関して

①北部公民館の暖房について

②身体障害者福祉センターの設備改善について

③「老人いこいの家」跡地利用計画について

3、地域循環型経済への具体策について

①企業誘致の目標と実績について

②商店街組織の現状について

③地域密着業者の魅力と行政の支援について

それぞれの質問では追及・提案をして実現したことには御礼を述べる見事な質問でした。

傍聴記

植田和子議員は、4年前の震災以降、空き地になつて江戸川台東一丁目の旧いこいの家跡地について、地域の婦人達の「気軽に利用できる施設がほしい」という要望を取り上げました。土地をとりつけ、これからの可能性につながる可能性があります。北部公民館大会議室の暖房について、

弱者に冷たい市政 県から変えよう!

重度障害者に医療費負担返ってきていた重度障害者の医療費が、今年8月から、通院1回ごとに300円かかる、という議案については前回もお知らせしましたが、65歳過ぎて重度障害者になつた方は、後期高齢者医療制度に移行して医療費は1割負担になる、ということが明らかになりました。年齢で区切って、例外なく制度から排除す

暖房の効力が低くて「寒い寒いね」といいながらのコースの練習でしたが、植田議員の執行部交渉により、部屋の4隅にファンを付け空気が拡散により室温が5℃程上がった暖かくなったということ。要望に對して、さっそく対処した当局に議会で「ありがとうございました」とうございました。植田議員。追及する時は厳しいが、要望に對処をしてくれたことにきちんと礼を言うという態度はさすがに植田さんと好印象を持ちました。

また、4月の選挙後も議会で活躍して下さることを期待しています。

花山

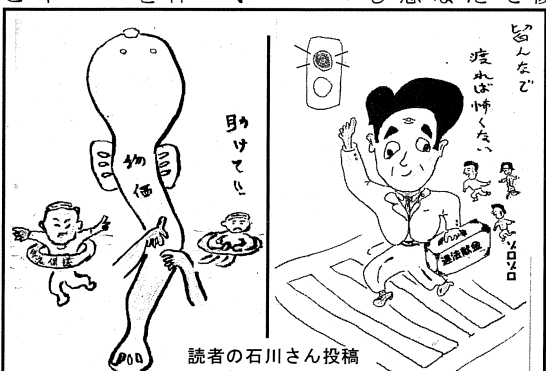
任期最後の一般質問を傍聴しました。この4年間長かったのか、短かったのか、短かっ

たのか、複雑な気持ちで質問に臨んだのだから、なんて勝手に想像してしました。

質問の一つ、江戸川台東一丁目の「いこいの家」跡地利用の件は特に関心をもちました。何故なら、屋根のペンキを塗ったことのある思い出の建物だからです。そこを通る度に、また建つのかなと思いつつ、しかし回答は緑地のままと言うことでした。超高齢化社会、老人が語らう場が多くあつたほうが健康のためでも

あると思います。

また、自衛隊に名簿を提出した件も「若者を戦場に送るな」と厳しく追及しました。「平和都市宣言」の流山市です。当局から「憲法9条」を守ると言って欲しかった。



読者の石川さん投稿

2月26日 1期目最後の一般質問が、無事に終わりました。あの大雨中、傍聴に来てくださったみなさん、本当に本当に、ありがとうございます。今期最後の登壇、みなさんのパワーを、しっかりといただきながら一般質問に臨みました。自衛隊への青年名簿の提供については、『戦場に行くことになるかもしれないよ』自衛隊への勧誘の手伝いは、『二度とするな』と、公式の場でも、きつと言えたり、執行部からも、『去年、提供した名簿は11月に回は重圧との闘いだったろ

植田和子議員の4年間

う。本当にご苦労さまでした。新人ながら数々の実績に感謝します。やり残した問題も多々あると思います。この続きをまた頑張ろうではありませんか。応援します。

菊池伍郎

るやり方は、高齢者差別そのものです。

さらに、1つの病院で、内科、外科、眼科など、いくつも受診すると、その都度、科ごとに300円払うことも明らかになりました。

完全に改悪です。

ここまで県のいいなりになるのか。県から変えないと、流山市は、ますます弱者に冷たい市政になるんだ、と痛感しました。

矢田春代さんを県議会

生命保険で差し押さえ解除!

また、後期高齢者医療制度では、H26年に11件も差し押さえをしていかたことが質疑の中で明らかになりました。

H27年度は、ますます税関係の取り立てを強めるそうです。

まわりで、税の取り立てでお困りの方がいます。たら、市議団に御相談ください。

植田和子

あすなる川柳

●問題ない 企業献金など あるか

●積極的に 平和を乱す 安倍総理

●増税と 減税相手を まちがえる